

能登原まちづくり推進委員会

委員長 門田 均

（問合せ先） 084-987-4460（能登原交流館）

事業内容

- (1) 生涯学習事業（5月～3月に9回×7講座 能登原公民館で実施 480人）
(2) 環境事業（5月28日 能登原地域内海岸, 11月26日 地域内主要道路清掃 197人）
(3) 健康及び福祉事業（能登原公民館 いきいきサロン, グラウンドゴルフ, ペタンクほか 262人）
〔一次避難場所避難行動〕 〔ペタンク大会〕 〔グラウンドゴルフ大会〕 〔とんどまつり〕



- (4) 安心・安全事業（11月27日 各自治会一次避難場所避難行動 保存備蓄用米を配布 480人）
(5) ふれあい寄席（5月29日 旧能登原小学校体育館を利用して落語鑑賞会を実施 79人）
(6) ふれあいまつり（10月19日～25日 絵手紙, 俳句, 手作りアクセサリーなど展示 240人）
(7) ふれあい運動会（10月15日 認定こども園のとはらと地域の合同で実施 165人）
(8) とんどまつり（6自治会で実施 旧能登原小学校での集合は中止 約250人）
(9) 学区花壇整備事業（通年 能登原公民館・学区内5自治会花壇 66人）
(10) 人・まち・ふくしまルシェ2022（11月13日 沼隈サンパル, 沼隈支所等で実施 約3,000人）
(11) 沼隈町駅伝大会（1月15日 沼隈運動場を主会場に実施 約2,000人）
(12) まちづくり推進委員会運営事業（通年 能登原公民館・学区自治会 24人×12回+400世帯）

成果

2年以上続くコロナ禍や小学校の統合を乗り越え、事業の継続や新規事業の導入に努めた。全てがコロナ禍前の状態に戻ってはいないが、地域の活性化に貢献できた。

課題・課題解決にむけて

若い人を中心に人口が減り続け、コロナ禍での行動制限もあり、各種事業の維持・継続の困難性に拍車がかかった面も多くある。事業の内容や進め方、関わり方など見直ししながら、地域の活性化につながる事業の展開に努めていく。

学区から地域へ 頑張ろう「のとはら」

コロナ感染の心配が続くなか、地域から小学校がなくなりましたが、下を向かず、これまで以上に地域が元気になるように取り組んだ。

「能登原学区民大学」から「のとはら大学」へ

これまで行ってきた様々な生涯学習事業を継承し、コロナ感染拡大に注意しながら可能な限り事業を展開した。



そば道場



ヘルシー料理教室



健康体操教室

「能登原学区運動会」から「ふれあい運動会」

長年、地域と小学校、保育所が合同で行っていた学区運動会を継承し、新たな取組として、「認定こども園のとはら」と地域で運動会を行った。



小学校の「能登原クリーン作戦」を地域で継承

旧能登原小学校が毎年地域に呼びかけて行っていた「能登原クリーン作戦」を子ども会やPTAにも呼びかけて地域内全自治会で取組むことにした。



春の海岸清掃



秋の道路清掃